

## アニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業 第2回専門委員会 議事録

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

定刻となりましたので、ただ今からアニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業に係る第2回専門委員会を開催いたします。

私は進行を務めさせていただきます、日本馬事協会の常務理事安武と申します。よろしくお願いいたします。

今回の委員会は公開ということで、馬事協会のホームページに公開の旨を告知しましたところ、1人から出席という連絡がありましたので傍聴席を用意してありますが、まだいらしていません。

本日は、委員10名全員出席していただいております。名簿順にご紹介させていただきますと思います。

(委員及び役職員紹介)

それでは、専門部会の開催に先立ちまして、専務の倉澤より挨拶を申し上げます。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

アニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業の第2回専門委員会ということでご挨拶申し上げます。早いもので11月の中旬となりました。皆様お忙しい中、お越しいただきましてありがとうございます。また、当協会の業務推進にあたりましては、ご指導ご協力頂きまして重ねて御礼申し上げます。

先ほど専務の安武から話がありましたように、前回ご欠席の柏村委員、佐々木委員も参加されているということで全員参加の委員会となっております。

また、農林水産省からは、菅谷課長補佐をはじめ係長2人にお越しいただいております。初めての方もいらっしゃいますので、よろしくお願いいたします。

7月28日に推進委員会を開催いたしまして3カ月ほど過ぎたわけですが、その間に専門委員会と科学的知見専門部会を開催させていただきました。現地調査ですが、熊本と岩手の2か所で実施しております。今後、日高と帯広を予定しております、順調に進行しております。

年明けになると思いますが、もう1回開催いたしますので、皆様大変お忙しいと思いますがご協力を賜りたいと思います。簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

それでは、本日もお越しいただいておりますご来賓の菅谷様にご挨拶頂きたいと思います。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

農林水産省生産局畜産部畜産振興課でこの事業を担当させて頂いております菅谷でございます。よろしくお願いいたします。

前回の会議でお話させていただきましたが、飼養管理指針は、採卵鶏や豚、肉用牛及びブロイラーなど順に検討させて頂いております。採卵鶏と豚は今年の3月に畜産技術協会に指針を取りまとめて頂きました。現在、私を含め、色々な場所でお話させていただく機会があり、その中で行政関係者や生産者にアニマルウェルフェアを分かりやすく説明していかなければいけないと感じております。このことについては、馬についても同じだと思います。その基となるのがこの指針ですので、できる限り分かりやすく取りまとめて頂けますよう活発な議論をお願いします。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

ありがとうございました。

それでは、第1回に引き続き、近藤委員に座長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ご指名を頂きましたので、座長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

先ほども菅谷課長補佐のお話にもありました通り、活発な議論をして頂きたいと思います。本日は聴講者もおられるとのことですので、円滑に進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

この事業は、今年度から実施している事業で、すでに8月に第1回の専門委員会の際に事業概要を説明させて頂いておりますので省略させていただきます。

それでは議題に入りたいと思います。前回もご説明いただきましたが、諸外国のガイドライン等について事務局からご説明頂きたいと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

諸外国におけるアニマルウェルフェアに関する基準ですが、前回、時間の関係上細かくご説明できなかったもので、今回、説明させていただく時間を頂きました。

現在、この翻訳は、科学的知見専門部会の小堤委員（畜産技術協会）に翻訳を依頼しております。素案は出来上がっておりますが、まだ、完全なものとはいえない為、口頭でご説明させていただきたいと思います。

（資料1について説明）

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ただ今の説明について、ご質問等ありますか。

私から宜しいでしょうか。スコットランドの放牧場の説明ですが、1エーカーや隣のアイルランドの1.5エーカーは1頭当たりでしょうか。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

軍馬の時代は1年に1頭当たり2.5エーカーではなかったでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

昔はそうですが、牛と馬で体重当たりの牧草の摂取量は同じと考えますと、北海道の道央で1頭当たり0.7畧で、道北や道東となると1頭当たり1畧となります。ここで乾草も収穫して放牧もしているような状況です。

軍馬の時代ですと、野草地が入っているため少し広がっていると思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

先ほどのご質問のアイルランドの放牧地の件ですが、文献には次の通り記載されています。補助飼料が用意されていない場合、それぞれの馬は最低1.5エーカーの良好な牧草地を必要とする。

しかしながらこれは土地の状態、時期、馬のタイプ及び飼養された牧場管理状態によっても変化する。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

放牧だけに放牧地を供用するのであれば、1シーズン出すとする時の値だと思いますので、1エーカーあたり2頭ということになると思います。この場合は、冬の飼料も確保することが含まれると思います。そうであれば正しいと思います。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

おそらく追加飼料がなくて、牧草も日本のものより良いものではないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

1 ページの断尾の所ですが、カナダでは見た目が美しくないで認められないのか、それとも審美的理由の為断尾は認められないのか、どちらでしょうか。

先ほどの説明だと美しくないという理由からと聞こえてきたものですから。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

事務局からメールでいただいた翻訳(案)の資料にはそのように書いてありました。

審美的理由での断尾は許されないと書いてありました。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

もう1点です。2 ページ目の栄養の項目ですが、カナダの所に書かれてあるNRC飼養標準ですが、NRCは養分要求量のことですので飼養標準ではありません。ちなみにJRCも同様です。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

栄養の中のヌカについてですが、海外ではフスマになると思います。しかし、国内では「ヌカ」というと米ヌカもあるため、ここはフスマにした方がいいのではないのでしょうか。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

乗馬では米ヌカを与えることは多いです。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

そうですね。

しかし、海外の場合はどうなるのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

これはウィートブランをヌカと訳してしまったのではないかと思います。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

海外の栄養の本ではブランとしか表記されていないので、区別はされていないのではないのでしょうか。しかし海外の本はほとんどフスマのことを指しています。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

日本でヌカと言うと、米ヌカのことになってしまうので。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

ここはフスマに書き直させて頂きます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他に何かありますでしょうか。

各国でばらつきがあるように思います。

日本で考えると、通常は獣医の仕事になってしまう項目が入っていると思います。

治療行為等は、獣医の仕事となるので、ここで細かい議論は控えたいと思いますが、通常獣医師が行う仕事として考えられるのは、断尾と去勢であります。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

去勢は一般の生産者でも行っている方もいます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

そうですね。

放牧は有刺鉄線が使用不可の国が多いように感じますが。

競走馬は使用しませんが、北海道和種は使っています。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

農用馬も使っています。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

乗馬や農用馬は結構多いです。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

軽種で行っている所は見たことが無いです。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

私ありません。

軽種では電牧はあまり使用しないのではないのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

そうですね。使用しても二度と触れなくなるので大丈夫だとは思いますが。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

何ボルト位あるのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

6,000 ボルト位です。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

しかしパルスなので、電流は小さい。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

単1電池を6本繋げています。6本なので9ボルトですのでこれを6,000まで上げると電流は低くなりますので。

他にはないのでしょうか。

それでは次に進みたいと思います。

この事業は、科学的知見専門部会という知見を扱う専門部会があります。この科学的知見専門部会の収集項目は、後から出てきます指針に盛り込む事項とも関係してくるかと思えます。まだ項目のみかと思えますが、事務局から説明願います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

(資料2について説明)

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ありがとうございました。ただ今の説明に対して、ご質問ありますでしょうか。

私もこの委員会におりまして、前回担当を決めさせていただきました。各委員の紹介をさせていただきたいと思えます。

川嶋委員は東京農業大学で講師をされておられて、馬のバイオセラピーで博士論文を書かれた方です。

柏村先生はこの会議に参加されておられますのでご存じだと思います。

二宮委員は東北大学大学院で准教授をされている非常に若い方です。博士論文をJRAと共同で行っており、日本で初めての家畜福祉講座の特認准教授です。

秦委員は私と同じ北海道大学北方生物圏フィールドセンターに所属されており、ご専門は栄養学です。国の飼養標準を作った時に中心になられた方です。

何かありますでしょうか。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

大項目として輸送については取り上げないのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

前回ご紹介いたしました、輸送は取り上げません。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

安楽死は競馬会が取り上げていますが、どの位の深さまで取り入れるのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それも検討事項だと思います。

安楽死は通常獣医が行う話になりますので、入れるか入れないかを含めて検討しなければいけません。

どちらかという、獣医に行ってもらおうという話になるかもしれません。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

採卵鶏や豚及び乳牛などを検討している中では、安楽死については、手法よりも病気にかかって予後不良となった場合に畜主として検討して下さいと書いてあります。手法までは書いてありません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

先ほど、海外の情報の説明がありましたが、一番多い安楽死はピストルを使ったものです。耳と目を結んだ交差する点を背骨に向かって打つという方法です。これを日本に持って来るわけにはいかないのです。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

18ページの悪癖ですが、生まれながらの癖なのか、病気なのかをご検討頂きたいのですが。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それは後ほど触れさせて頂くということで宜しいでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

アンケートは進行中で、第1回専門委員会の際に案を相談させて頂いて、現在、調査を行っております。実態調査及びアンケート調査につきましては、第1回でお送り頂いておりますので、現状報告とさせて頂きたいと思います。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

治療すれば矯正できるかどうかです。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

熊癩、さく癩、旋回癩などについての定義や治療の内容などを議論するかどうかでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アンケートは、癩のある馬が何頭程いるのかというアンケートです。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

今回の指針は、治療を観点にしていません。また、熊癩の馬が何頭いるからストレスが溜まっているなどストレスチェックも違う観点ですので、例えば牧場の馬が全頭熊癩しているとしても、治療行為などとは結びつきません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ご質問は治療的ではなく、生まれつき癩があるのか、後天的なものなのかです。以前行っていて治った場合はどういうふうに解釈すれば良いのかだと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

そこまで細かくは。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

調査は現場に何頭いるかでしか行っておりません。生まれてからの飼育段階を調査しないと分かりませんので、期間までの調査は非常に難しいです。

放牧地で熊癩は頻繁に行っていますし、さく癩は治りません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

難しいですが、軽度のものであればイライラしている馬は行きます。たまになのかそれとも常時なのかという話ではないかと思います。

この話はアンケートの項目で議論したいと思います。

資料2についてですが、科学的知見でこの様にまとめてみようとなったのですがいかがでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

断尾は必要なのでしょうか。日本ではあまり聞いたことがありませんので。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

科学的知見では、何も基準がなければ誰かが行ってしまふかもしれないので、入れることになりました。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

日本では、ほとんど行われていないのでいいのではないのでしょうか。書いてしまうと面白半分で行われると困りますので。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

断尾はタンデムという縦列で馬車を曳く際に、前の馬の尾が後ろの馬の目を失明させる心配があるため、行っています。日本では横列で馬車を引きますので行わないと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

検討事項ですのであってもいいかとは思いますが。

それでは次の議題に入りたいと思います。

第1回の際に議論させていただきましたアンケート調査並びに実態調査につきまして、進捗状況をご説明願いたいと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

資料3について説明

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ありがとうございました。今の説明について何かご質問等ありますでしょうか。

実態調査のことで何かありますでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

先週、遠野で乗用馬の生産農家を6戸ほど見させて頂きました。遠野では乗用馬生産組合がしっかりしています。また、遠野市自体が生産振興を行っている部署があり、生産農家等の把握をしています。

基本的には飼養形態が決まっており、夏は山に放牧、冬は舎飼の夏山冬里方式で行われています。

曲がり屋を改造した厩舎を使用している方や、乗用馬を飼いたいので遠野に引っ越してきた方など馬が好きな人が多かったため、アニマルウェルフェアに抵触するような飼い方をされている方はほとんどいないと思います。

農用馬だと配合飼料の多給などがありますが、乗用馬なので非常に丁寧に飼われている印象でした。夏はほとんど放牧ですし、冬も共同牧野に預けます。繁殖シーズンと市場のシーズンだけ農家にいるような形ですので、全体で動いているという印象でした。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

何かほかにありますか。

私の誤解でなければいいのですが、ウェルフェアがどういうものかも知らず、世界的な制度も知らないが、「私は馬を可愛がっているから問題ない」と言っている方が、少しでもアニマルウェルフェアに抵触していると大きな問題になってしまいます。

この様な方は、アニマルウェルフェアに抵触すると指摘されてしまうと凄く怒ってしまうことがあります。

本当に酷い方であればお金がかかっているから等で議論にはなるのですが、馬を本当に可愛がっている方で少しずれている方は絶対に認めないので、問題が大きくなってしまいます。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

疾病対策は、予防接種や駆虫など、飼養管理には色々な事項がありますので、それぞれの事項について、どういふものなのか等は、記述が必要になるかもしれません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

タンパク濃度が高いものを知らずに与えていることが問題になるかもしれません。

では、熊本等肥育についてですが、山下氏が行かれたと思います。以前の会議で、「肥育農家に行くことが可能なのか？」という議論になっていましたが、現場に入るのは問題なかったのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

馬事協会が事務委託をしております熊本県畜産協会が、別途、コンサルタント業務も行っている関係からスムーズに入ることが出来ました。

実名は出せませんが日本を代表するような大手の肥育業者を見させて頂きました。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アニマルウェルフェアの実態調査ということで反発などはありませんでしたか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

アニマルウェルフェアという言葉に過剰な反応はありませんでした。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

今後、青森や秋田などに調査に行かれると思いますが、いかがでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

青森には支部がありますが、秋田は秦先生から情報を頂いてコンタクトを取る宿題を頂いております。秋田には支部がありませんので、どのようにコンタクトを取るかで止まってしまっている状態です。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ありがとうございます。カナダから来た馬には焼印が入っていると話が出ましたが、これは先ほどの資料ではどのようになっているのでしょうか。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

資料には、「馬関連の組織はそうした識別方法を他の方法に改めることを推奨する。」と書かれています。

マイクロチップは、肉用馬には許可はされていません。

他の方法を推奨するようになっています。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

先ほど山下氏から話がありました耳標についてですが、馬にも耳標の実態がありますのでご意見を頂ければと思います。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

私は反対です。



実際、見たことがありませんので分かりませんが、馬の耳は牛と違い神経質なので幼少時期に付けること対して疑問が残ります。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

個体識別の中で耳標は触れるのかどうかです。与那国馬の個体識別は、耳切りです。私どもから切り替えるようお願いはしており、現在は、マイクロチップに移行しつつあります。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

先日、野間馬ハイランドに行きましたが、野間馬は全て耳標でした。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

耳標に 10 桁の番号が入っていて、パソコンで血統などの付加情報を管理しなければなりません。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

外れて落ちたりすることは無いのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

野間馬の場合はほとんどないという回答でした。

しかし、トカラ馬は、鹿児島大学の岡本先生の話によると取れてしまうようです。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

先ほど佐々木委員が言われましたが、馬の耳は、抑え込む時に鼻ねじの次に耳をねじるくらいデリケートなので可哀そうだと思います。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

熊本は何か言っていたのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

特にはありませんでした。ただ 1 ストールに 15 頭入っているだけなので、基本的には擦る場所もありません。過去に落ちたという事例はないそうです。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

肉用になると見やすいからという理由で耳標になっているかもしれません。使役の馬であれば耳をいじるのはどうかと思います。肥育であればと思う部分はあるのですが。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

耳標は付ける時の痛みよりも、付けた後の違和感によるストレスがあると思いますので、影響はあるのではないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

世界的に付けないこととなっているから付けていないのでしょうか。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

牛と違い馬には旋毛がありますので、多頭飼いでいてもわかります。少なくとも馬が好きであれば覚えると思うので、耳標は必要ないと思います。

耳標は、実に肥育の考え方だと思います。人間の都合の良い管理の仕方、馬の迷惑を考えない管理の仕方だと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

畜産は人間の都合なので、ここで議論を始めてしまうと終わらなくなってしまう。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

耳標を付けてしまうと海外から指摘されるのではないのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

耳標を付けている馬が、現に私どもの業務に関係する馬でいますから。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アルゼンチンは牛と馬に形の違うベルを付けています。

耳標はどうでしょうか。今、耳標を付けている所も好ましくないとするのか、もちろん耳切りに関しては、好ましくないと思ふべきだと思います。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

今、切り込みがある馬については別ですが、今後、生まれてくる子馬に耳切りを行うことはありません。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

「耳標を止めてマイクロチップにする。」となった場合ですが、カナダは食用馬にマイクロチップの打ちこみは禁止となっています。これも議論しなければいけないと思います。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

皮下注射で筋肉には入らないので、食用でも構わないのではないのでしょうか。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

枝肉にした場合、取れてしまうと解らなくなってしまう。岡委員が昔実験を行ったと思いますが。

独立行政法人 家畜改良センター 十勝牧場 業務2課長 岡 明男

かなり昔に行いました。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

カナダは馬を食用にしているのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

カナダは食べないので、輸出しているだけです。カナダでも州によって変わってきます。フランス系の方は食べる様です。アングロサクソン系の方やイギリスの方は食べることを嫌がります。

耳標の委員会結論としては、あまり好ましくないということによろしいでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

肉に影響を与えること等、好ましくはないというのが科学的なデータを集めた方がいいのではないのでしょうか。明らかに飼料効率が悪いと証明されれば駄目という形になると思いますが。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

わかりました。他に代わるいい方法があれば進められるということですね。

次にアンケートですが、先ほど出た悪癖のことですがアンケートは戻ってきているのでしょうか

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

若干は戻ってきております。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アンケートを作った時にちゃんと議論しなかったと感じています。

これは、農用馬も軽種馬もどちらも同じアンケートでしょうか。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

農用馬は 11 ページから、軽種馬は 21 ページから掲載しています。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

始まってしまっているので何とも言えませんが、物江委員のおっしゃる通り曖昧な回答が入ってきそうですが。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

それはその様になっても大丈夫ではないのでしょうか。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

半分以上の調査が進んでおりますので、現状で行きたいと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他には無いでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

乾草の給餌に関してですが、最近ロールが結構増えてきています。この分類はどうしたらいいのでしょうか。アンケートの取り方も気をつけなければいけない部分はあるのですが。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

軽種馬ではロールを丸ごと置いて食べさせるようなことはしないと思いますが。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

軽種馬は無いかもしれません。

北海道のロールをずっと見ていたので大きい物しかないと思っていましたが、遠野で色々なサイズがあるのに驚きました。

牧草ではなく藁をロールにしたりもしており、ラッピングしてヘイレージになっていました。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それも乾草に入るのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

乾草給餌という項目しかなかったのです。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

サイレージを与えている農家さんもいますから。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

乾草の方が少ないのではないのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

サイレージの水分量はどのくらいなのでしょう。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

原料の水分含量により窒素を入れて調整しています。その後、発酵させて水分含量を均一にします。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

麦稈はアンモニアを添加しています。

十勝馬事振興会 会長 佐々木 啓文

そうすると嗜好性が上がります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

競走馬はどうでしょうか。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

サイレージは、特に冬場は放牧地に置いていても腐りませんので普及してきています。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

サイレージにすると食べ過ぎて馬が重くなるという話を聞くのですが。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

私たちはデータを持っておりませんし、調査してもそのようなデータは算出されませんでしたので、迷信ではないのでしょうか。本当は何らかの影響があるかもしれませんが。

問題は無いと生産者には説明しています。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

食べると慣れてくるのではないのでしょうか。

馬術部で頂いて使用した時に、疝痛で死んでしまった嫌な思い出があります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

食べすぎではないのでしょうか。

J R Aとサイレージの研究を行いました。当時、栄養学者のヒンツ氏が初めは問題ないと言われておりましたが、後から聞くと問題が起こることがあるので競走馬には与えないと言われておりました。

オーストラリアの研究者も同じことを話している方がいました。

フランスでは、規制は無いようです。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

競走馬はトレセンなどに入ってしまうと競走馬、生産地までは軽種馬です。そのステージに関して問題は無いと思います。競走馬では問題かもしれませんが。

ウェルフェアの観点から話をすると、粗飼料という扱いでいいと思います。

サイレージをどれ位与えているかも重要だと思いますが、元は牧草なのでまとめてしまってもいいのではないかと考えます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

カナダやアメリカに行くと競走馬は2～3割程しかいません。N R Cには問題があつて、N R Cの基準で給餌すると仔馬は体重が重くなりすぎて足を痛めてしまいます。

それでJ R Aは独自に飼養標準を作成しています。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

確かにヘイレージを作っている感覚が無いので、知らないうちに水分含量を高くしてしまって、悪意なく給与してしまっているということはあるかもしれません。

今のところその様なトラブルは聞いたことがありません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

話を戻します。

乾草の所にロールが入っていますから、多少、発酵していてもその中に入れて頂くということでもよろしいでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

今年は、天候不順で良質な乾草がとれていません。その面ではロールがサイレージなっていますので、今年度のアンケート調査を基に集計を行うことは問題があると思います。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

十勝で農家周りをして調査を行う時、乾草給餌の話聞いた時に相手からどのような返答が来るかが心配でした。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

今年は良い乾草がとれていないので。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

注釈で書き入れる様な形はどうでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

入れた方がいいと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アンケートの結果が毎年のもを反映しているわけではありませんので。

特に北海道は、この様なことがあったと解析していかないといけないと思います。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

濃厚飼料に関してですが、農家でヘイキューブはどちらなのかと聞かれたりします。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

粗飼料だと思います。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

私の考えでは粗飼料ですが、農家の方は混ぜてしまっていますので。

農家さんは濃厚飼料とヘイキューブを一緒に考えている様に思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ルーサンのペレットは昔からですが、繊維質のあるコンセントレイトという言い方をしていました。

松井委員が粗飼料と言われていたので、粗飼料にしましょう。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

粗飼料という言葉も農家さんがどう考えているか解りません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

混ぜてしまうと見直す手間がかかりますのでどうでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

聞き取り調査の返事は、フスマ、圧ペン、トウモロコシなど全部含めて濃厚飼料としています。ヘイキューブなども返事を聞く限りでは、濃厚飼料に入ってしまったと思います。

乾草かそれ以外かという質問をしていますので。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

実態調査はこれを持って行って聞いていますよね。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

はい。

すべて混ざっていると思います。聞き方がこのようになっておりますので。一つずつ細かく聞いていけば出ますが、これではヘイキューブも混ざっている形になります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ウェルフェア上問題は無いでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

おそらく無いと思います。飼養実態調査もついでにというコメントがありましたので。細かく1頭当たりの量を聞いたりすると、枠を超えてしまうかもしれません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

事業に沿っていえば問題ではありません。十分な量を与えていれば良いので。実態調査で量まで知りたければ話は別ですが。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

濃厚飼料が多くなりすぎていておかしい所があれば、確認して頂ければと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

そうですね。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

肥育環境で前回と同じことを議論していると思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

飼料区分については、アンケートの結果が出てから精査するという事でよろしいでしょうか。

他はないでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

次に「飼養指針」に盛り込むべき事項の検討に移りたいと思います。

この事項については、第1回の際、素案のようなものがありましたが、その後、変わっている部分もあるかと思えます。

これについては、細かい内容等は、次回でよろしいかと思いますが、大項目と小項目については、決めて頂きたいと事務局からの申し出ありましたので、まず、事務局から説明願いたいと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

(資料4について説明)

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ありがとうございました。何かご質問等ありますでしょうか。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

最後に異常行動と安楽死が出てきましたが、安楽死は22ページの管理方法⑧の回復の見込みのない馬の処置で出てくると思います。異常行動を項目として出すのは少し違和感がありますので、異常行動はどの項目にあたるのか、先生方に伺いたいと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

海外の項目に異常行動はありましたでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

資料2のその他の部分に異常行動と安楽死を入れてありました。これは科学的知見で入れただけですので、そういう意味では海外の文献では入っていませんでした。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

科学的知見では二宮委員が馬の異常行動の専門で仕事をされていたので、ウェルフェア上の大きな問題があれば異常行動をもたらすということで、きちんと調べるという話になったと思います。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

資料2では、その他にあります。異常行動と安楽死については、その他の項目に入れた方がいいのではないのでしょうか。

科学的知見の担当者表でもその他に入っているのです。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

先ほども議論になりましたが、安楽死は通常は獣医が行うものです。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

内部寄生虫駆除に関しては、11の有害動物の防除、駆除の必要性の放牧時の防除、駆除に含まれていると解釈してよろしいでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

はい。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

それであれば、内外部寄生虫の駆除などの明確な言葉を入れた方がいいのではないかと思います。諸外国も駆除に関しては、細かく規定している国が多く、駆除は非常に重要ですので、入れておいた方が良いでしょう。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

日常的に行うものですからね。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

飼料への野生動物の排泄物混入は管理の項目になるのではないのでしょうか。

1の有害動物等の所ですが、色々な動物の糞が落ちているなどですがこれはどうでしょうか。



北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

そうですね。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

エサそのものでもありませんから。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

これは移動してよろしいでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

前はコクゾウムシなどの問題がありました。重複してしまうのではないのでしょうか。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

他の畜種では重複することは多々あります。ここは重要ですので、書く時に考えて頂ければと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

コクゾウムシにはダニが入っていることもありますので、飼料・水の品質の確保に入ってもおかしくはないですし、ネズミの糞などになれば管理の問題になりますので、両方あってもおかしくは無いと思います。

⑫に管理方法の理解の促進とありますが、別にしたほうがいいのではないのでしょうか。これは管理だけの話ではなく、全体の話になりますので。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

5つの自由を述べるということですね。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

これは最初ではないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

そうですね。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

給水の所ですが、一昨年牛で貫通方式を使用した厩舎で、水を与えていたところ感染病にかかったしまったという事例があります。この様なことを入れることはできないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

そうですね。

なるべく個別にあたえるとかでしょうか

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

何かいい方法はないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

現時点では大項目と中項目の整理ですが、今物江先生からお話のあった伝染病の防止を小項目で入れた方がいいのではないのでしょうか。

昼夜放牧や農用馬もそうですが、沢水を使うことが多いです。

日本中央競馬会 馬事部 上席調査役 宮崎 栄喜

管理方法やエサ及び水等について、厩舎で飼っている場合と昼夜放牧とは全く条件が違う場合があります。基本的には厩舎の中で飼われているという条件で書かれていると思いますが、遠野は山に放牧となりますので区別が必要になってくるのではないかと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

管理方法及び運動施設の確保ですが、話があったように新鮮な水を与えているかどうかや、雨水を飲ませないようにするなど入れる必要があるかもしれません。

日本中央競馬会 馬事部 上席調査役 宮崎 栄喜

エサについても昼夜放牧の時は、毎日給餌はしないかもしれません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それが先ほど議題になりました1エーカーの話になると思います。しかし、北海道と東北は草量が全く違いますので。また、風通しの問題などもあります。

管理方法の所は昼夜放牧をする場合は、飼養方式で書いてきました。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

諸外国では別になっていたと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

その中に管理方法や飼養方式が入ってきています。

同じ放牧でも、競走馬の育成や農用馬の放牧及び和種馬の放牧は全然違うことになりますので。

日本中央競馬会 馬事部 上席調査役 宮崎 栄喜

基本的には、完全に放牧しているような状態の場合だけを特例として入れて頂ければと思います。

昼放牧で夜舎飼であれば、ほとんど厩舎と変わりません。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

どこかに昼夜放牧の項目ありましたか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

飼養方式の所にあります。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

海外を見ると、スコットランドは細かく書いてありますが、カナダ等の他の所はアバウトです。日本の場合も昼夜放牧を規定に設けて泥水を飲まないようにすることや、川水の場合は寄生虫のことに気をつけなければ

ならないなど細かくはいらないと思いますが、「衛生的な水を飲めるような環境に配慮する。」と表現を入れておけばいいのではないかと思います。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

ウェルフェアの哲学からいうと、自然に近い状況で飼養されていれば、無理に人間が管理している状況ではないので、動物に負担がかかっていないと考えると、放牧場に何をしないといけないということは必要が無いと思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

牛ですと、オーストリアでは、評価が点数制になっています。1頭当たりの広さにより点数が加算され、総合得点が基準を超えるとアニマルウェルフェアをクリアしていることとなります。その中で放牧は重要視されていて、放牧を1日8時間するとかなりの高得点になります。通年舎飼放牧になると満点に近くなります。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

先日、北海道開発局の方が来られ、土建屋が持っている用地で馬を飼っているという話がありました。

そこでは、シートを曳いてため池のように水がたまる所を作っていました。その用地が無くなるので、相応のものを作るのかということが話にアガりました。そこで、ドラム缶を切って水飲み場を作っているみたいですが、その場所の環境が悪くて本当に馬が使っているかどうかを行動観察しなければなりません。

軽種馬ではありえないが、他の馬種ではあるかもしれない。土建業者などがかなり飼養しているように思います。その様な場所が引かかってくるように思います。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

もともと林間放牧で和種馬を飼っていた方は、その様なことは考えていません。牧柵さえありませんので。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

飼い方マニュアルではないですね。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

はい。ウェルフェアの話です。

ただ、三木委員が言われたように、通年放牧の時は新鮮な水を与えるようにし、草量を十分に与えるように一言ないと飢え死にしたら困りますので。これはウェルフェアの文言に入っております。

異常行動はその他に入りますが、安楽死は治る見込みのない馬も入るのか。

社団法人 日本装蹄師協会 装蹄教育センター 装蹄研究課長 森 達也

管理方法の所を読みますと、4番の去勢と8番の病気・事故の処置は違和感があります。これは獣医が行うもので、2つともその他にもって行って、日常の管理ではなく、特殊な病気になった時に治していただければ困ります。治らないのであれば苦痛を与えないように安楽死しなければならないので、その他の項目にもっていった方が読み方としてはすんなり行くと思います。

軽種馬も去勢は行うと思いますが、素人がやるのはどうなのかと思います。実際は行っているかもしれませんが、衛生的な面もありますが、行う技術者が危険です。特殊な場合ということでその他に置いた方が良いかもしれません。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

海外を見ると、と殺場で殺せば肉として使えますが、その場で安楽死してしまうと肥料になってしまいます。お金をしたい人はと殺場に持って行きますので、安楽死させるという言葉がなければ駄目というニュアンスで書いてあります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

一般市民とは別だと思えます。牛であれば、獣医が抗生物質を使えば助かるという話になっています。抗生物質を使うとと場に持って行けません。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

共済金が出るとかですよ。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

馬はどうでしょうか。

海外だとその場で打ってしまうことが結構あります。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

北海道では、斃獣処理場に牛は生きた状態でも持って行ってもらえますが、馬は輸送時の危険性がありますので、獣医に安楽死させてもらうように言われます。実際そのような経験もありますし、骨折など緊急性を要するような時は、輸送会社の手配などもありますので、その場で安楽死させたこともあります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

競馬場はどうでしょうか。

ファンに見えないように行いますよね。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

はい。決まった薬を打って安楽死させます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

先ほど話がありましたように、獣医師が行う場合が多い仕事は別にまとめた方がいいかもしれません。安楽死と去勢もですよ。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

去勢は、農家さんが去勢をやり、失技したり、陰辜の場合に頼まれます。

重種馬に関しては、佐々木委員の方が詳しいと思いますが、去勢の玄人みたいな方がおられます。海外のものをみますと、獣医がやらなければならないだったり、麻酔下でやらなければならないだったり、ガイドラインに書いてあります。日本での重種の現状は、枠に入れて、足を上げて、鼻ねじ1本で行っています。実際その場を見ましたが、本当に短時間で馬が声を上げたときには終わっている様なことのほうが多いです。

去勢失技で出血がひどい場合や、陰辜の場合にだけ我々獣医が行っています。実際に私達は行っておらず、農家さんが行っている場合が多いので、獣医ではないと駄目というような縛りで書くのは現状には合わないような気がします。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

牛はどうなっていますか。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

牛はまだ出来てはませんが、豚では、去勢や断尾に関してはケースバイケースで治療に該当することもありますし、このことを細かく分類として書くのは難しいことから、それらを行う利点を書いた上で行うべきだと書いており、手法については記載しておりません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

私がお聞きしたかったのは、豚も牛も海外では獣医を呼べと書いてありますよね。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

そうでもないかと思います。経験がある人という形で書いてあるものもあります。その部分は三木委員が言われるような書き方がベターではないかと思います。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

経験がある人と書いてあって、獣医でないといけないとは書いていません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

大動物を殺すのは獣医の監視下ではなかったでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

私達は学術目的です。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

おそらくないと思います。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

獣医師会でも話があり、以前はパコマを使用したりしていたのですが、現状ではキシラジンやケタミンでの深麻酔下で塩化カリウム溶液を使用しての心停止が一番推奨される方法となっています。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

去勢は治療行為なのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

違います。ベテランが行えば大丈夫です。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

自分の牛や馬を行うことに関しては、大丈夫ではないでしょうか。金銭が発生すれば獣医師法に触れてしまいます。

社団法人 日本装蹄師協会 装蹄教育センター 装蹄研究課長 森 達也

私が言いたかったことは、アニマルウェルフェアを考えるのであれば、指針を作った方が良いと思います。もう一つは日常の管理です。治療ではないですが、完結的な管理です。

牛の蹄を削ることも治療行為に入ってしまうことがあります。

お金は取らなければ良いとか、別の方が数回行ったら駄目など諸説あります。そこはグレーゾーンなので深くは言いませんが。資料を作成していくうえで、病気や事故は別にしたほうがいいかもしれません。

もし、記入するのであれば、獣医でなければという表現を入れてしまうと現場が混乱しますので、事故がないようになどの記載をすれば良いのではないのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

去勢するときの留意事項であれば良いが、目的と必要性を入れるかどうかです。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

肉馬、乗用馬及び農用馬にしても、性格を穏やかにする理由や、肉質の問題などの理由が多いですね。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

在来馬の場合は、種雄馬で残す馬以外は全て去勢します。そうしなければ、雌馬と一緒にすることが出来ませんので。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

不必要な苦痛を与えていないかどうかですので、必要であれば最小限の苦痛で行わなければなりませんし、去勢、病気及び安楽死はどのようにまとめたら宜しいのでしょうか。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

去勢はこのままでいいと思います。

⑧の病気、事故等の処置は、座長が言われた通り最後に獣医のくくりで持ってきた方が良いかもしれません。その項目に去勢が入ってしまうと、獣医でないと行ってはいけない様なニュアンスになってしまうので。どちらかといいますと、管理に入ると思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

歯と蹄はどうでしょうか。

社団法人 日本装蹄師協会 装蹄教育センター 装蹄研究課長 森 達也

蹄は日常の管理だと思います。例えば蹄葉炎になった時に血を出しますし、また、蹄骨が割れているからということも獣医の領域です。蹄が伸びたりなどは日常管理ですので、こちらに残して装蹄師にやってもらうか、一番良いのはオーナーさんが行うということです。

歯は、獣医でなければいけないと JRA は言われていますよね。

日本中央競馬会 馬事部 上席調査役 宮崎 栄喜

競走馬に関してはですね。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

諸外国では、歯だけで開業されている方もいますよね。

社団法人 日本装蹄師協会 装蹄教育センター 装蹄研究課長 森 達也

そうですね。しかし、歯については、傾斜なども削ったりしないといけませんので、一概に獣医のみの仕事

は言いづらいのではないのでしょうか。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

農家さん所有の馬の歯については、私達に依頼が来ます。

社団法人 日本装蹄師協会 装蹄教育センター 装蹄研究課長 森 達也

現場がどうなっているか分からないので、難しいですね。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

食欲減退などの異常があれば獣医を呼んでいます、農家さん自身が歯を削っているとは思えない。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

これも蹄と同じで、歯をきちんと見なさいや獣医等の熟練された方を呼んで行いなさいとなると思います。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

欧米だと、年に1度検診が義務になっています。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

乗馬クラブなどは外国から歯医者さんと呼んでいますよね。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

歯は、豚の歯切りくらいで、他の畜種ではほとんど出てきていませんでした。馬は歯についてはすごく重要ということになるのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

外国では、実際に馬の歯医者のみで産業として成り立っている現状があります。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

歯を見れば馬の状態が分かりますので、きちんと見てあげた方が良いと思います。

北海道農業共済組合連合会 技術総括 三木 渉

斜歯でカミソリのようなになっていますので、舌の損傷で咀嚼が出来なくなったり、放牧から帰ってきて歯がガリガリに痩せていた時は、斜歯の場合が多く削ると改善に向かいます。

日本中央競馬会 馬事部 上席調査役 宮崎 栄喜

馬が普段生きて行くには、歯が尖ってエサを食べることができなかった時などにチェックが必要で、年に何回か定期的に歯のチェックはしなければなりません。

私は、蹄の方が気になります。まれに乗馬クラブや牧場では、放っておくと歩けなくなるような、馬を見かけることがあります。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

遠野も繁殖雌馬はそうでした。仔馬は売る都合上綺麗にしています。繁殖になると蹄が過長の馬がいました。

全国公営競馬獣医師協会 会長 物江 貞雄

小さな動物園にも多いですね。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

シマウマなどは多いです。

菌、蹄、去勢に関しては、異常がないかをチェックしてプロに任せるということを記入しても良いと思います。

個体識別は、耳標を入れたほうがいいのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

1日1回は見回りをするかと書いてありますが、公共の牧野は必ず見回っていると思います。ここをどうするかを皆さんの意見をお聞きしたいのですが。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

海外には必ず1日1回は見るようにということは入っています。1番大事なものだと思います。私は入れて欲しいです。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

見なければ生きていくかどうかかわからないですから。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他にはないでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

仔馬という語句が出てきていますが、生後何ヶ月までなのでしょう。定義のようなものは必要ないのかと考えるのですが。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

どうでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

離乳前までです。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

離乳しなかった場合はどうでしょうか。越冬したら1歳馬という言い方で宜しいでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

生産牧場を対象にしていますから、繁殖の馬とほ乳中の仔馬及び育成馬しかいないと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

軽種馬では乗馬よりも早く育成に入ってしまうますが、育成に入ると今回の指針からは除外になります。



帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

軽種馬のアンケートでは、当歳、1歳及び繁殖という形になっていますよね。  
当歳を仔馬と置き換えて読めば良いのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他にはないでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

23 ページの厩舎の騒音ですが、牛で振動がストレスになっている事例があります。馬は振動に対してどうなのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

どのような事例か詳しくお聴かせ下さい。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

護岸工事の振動を人は感じないが、乳牛が感じていたようです。その結果、乳量及び繁殖率が低下し、凶暴化したことなどが挙げられます。

馬は牛よりも鋭敏だと思いますので、どうなのでしょうか。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

牧場で、地震の前に馬が走り出すのを見たことがあります。感じているのではないのでしょうか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

人間よりも高いサイクルの音は聞こえると思います。

これはウェルフェアに入るのでしょうか。

帯広畜産大学 教授 柏村 文郎

科学的知見で文献があるかどうか話をしないといけないと思います。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

それを入れるとややこしくなるのではないのでしょうか。

騒音があれば振動もあると思いますので。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

他畜種では、自分で使っている機械などの振動や騒音を対象に書いていますので、海外でも科学的知見はないのではないかと思います。

文献なども無いのではないのでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

その方も調べたそうですが、事例はなかったようです。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

騒音の書き方は、馬は人と違い高周波の音も感じます。よって、騒音には気をつけなければならない。と一文を入れるような形で宜しいでしょうか。

上川の事例では、どのような結果になったのでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

結果的には認めましたが、金額が変わったと聞いております。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

海外での事例ですが、輸入牛で高架工事を行っていた時に悪くなったことはありました。しかし、データとしては保存されていません。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

書き方としては、先ほどの書き方で宜しいでしょうか。

他にありますか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

議論の対象になるか分かりませんが、法定伝染病が発生した場合の防疫措置は書き入れるのでしょうか。

農林水産省 生産局 畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

法定伝染病の措置については、別途定められたものがありますのでここでは書かないこととして頂いて良いと思います。

ただ、伝染病の予防は重要なので、何ヶ所にもわたって記述されています。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他に何かありますか。

(結果事項の確認)

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

異常行動はどうされますか。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

その他に入れようと思います。

それでは終わりたいと思います。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

ありがとうございました。次回は年度内にもう一度ありますので、今日の意見を踏まえ行いたいと思います。ありがとうございました。